

**令和４年度エコ事業所表彰（令和３年度取組結果分）
審査基準と審査委員長コメント**

１ 審査基準

（１）電気使用量の削減部門

電気使用量の削減によるCO2排出量の削減率や実施された取組等を勘案の上、削減率の高い事業所を選定。

（２）自動車燃料使用量の削減部門

自動車燃料使用量の削減によるCO2排出量の削減率や実施された取組等を勘案の上、削減率の高い事業所を選定。

（３）その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門

創意工夫されている、組織内で浸透している、継続性がある、地域との関わりが深い等の観点から、他の模範となる取組を実施した事業所を選定。

２ 被表彰事業所

別紙「令和４年度エコ事業所表彰（令和３年度取組結果分）被表彰事業所一覧」のとおり。

３ 審査委員

	氏 名	所 属 等
委員長	永田 隆憲	一般財団法人省エネルギーセンター九州支部 事務局長
委員	加藤 尊秋	北九州市立大学国際環境工学部 教授
〃	辻 勝也	福岡県地球温暖化防止活動推進センター長
〃	吉川 泰彰	福岡県環境部環境保全課長

4 審査委員長コメント（一般財団法人省エネルギーセンター九州支部 永田 隆憲 事務局長）

(1) 総評

事業所における省エネルギー・省資源の取組は、環境保全への貢献だけでなくコスト削減にもつながり、経営面でもメリットがあるものです。

現在、約 2,500 の事業所が省エネルギー・省資源に取り組む「エコ事業所」にご登録いただいています。

被表彰事業所の選定を行うにあたっては、業種・規模に関係なく全ての事業所を対象としているため、各事業所の取組内容や結果を一律に評価することは困難でありましたが、「電気使用量の削減部門」及び「自動車燃料使用量の削減部門」については、取組内容を勘案のうえ、CO2 排出量の削減率が高い事業所を選定しました。

また、「その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門」については、活動による CO2 削減効果や継続性、他の事業所の参考となる創意・工夫があるか等の審査基準に基づき審査を行い、優秀な活動を実践していると認められる事業所を選定しました。

令和 3 年度も、コロナ禍で在宅勤務やオンライン会議が進んだことなどから、電気使用量や自動車燃料使用量が減少した事業所が多く見られましたが、今回、選定された事業所においては、事業所の代表者のみならず、全従業員の方のご理解とご協力により、省エネルギー・省資源の取組を効果的に進められていたと思います。

今回、受賞された事業所の皆様のご努力に敬意を表しますとともに、被表彰事業所の取組を参考に、県内の事業所の省エネルギー・省資源の取組が今後益々広がり、ひいては脱炭素社会の実現に繋がることを願っております。

(2) 各部門の最優秀事業所の評価

ア 電気使用量の削減部門

事業所名	和新工業株式会社〔筑前町〕
評価	再生可能エネルギーによる自家発電により、大きく電気使用量を削減していることを評価しました。

イ 自動車燃料使用量の削減部門

事業所名	株式会社金子組〔古賀市〕
評価	廃車や、現場への乗り合わせなどの取組によりガソリン使用量の削減効果を挙げていることを評価しました。

ウ その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門

事業所名	一般財団法人福岡県浄化槽協会 福岡検査センター〔篠栗町〕
評価	建て替えに伴う LED 照明や省エネ型空調・冷蔵設備、遮熱断熱ガラス等の省エネ設備の導入や、不要となった機器の譲渡や売却による廃棄物排出量の抑制など、多岐にわたる取組を実施していることを評価しました。